



☆第1回復習確認テスト（7月1日実施）

期末テストの翌日には第1回復習確認テストがあります。1日で5科・・・と感じるかもしれませんが、都立高校の一般入試は1日で5科目の試験となります。集中してテストに臨むことが当日に力を発揮することに繋がります。現在の自分の力を図ることができるよい機会です。1学期末には個票も返却します。自分がどの教科のどの分野は理解できているのか？理解不足なのか？が分かります。夏休みの学習に生かすためにも持っている力を全力で出し切るテストにしましょう。

【出題範囲表】

| 国語 | 数学 | 英語 | 社会 | 理科 |
|----------|---------|----------|----------------------|------------|
| 文学的文章の読解 | 数・式の計算 | 対話文読解 | 地理 地理的分野総合 | 小問集合(復習問題) |
| 説明的文章の読解 | 1次方程式 | 長文読解 | 歴史 古代までの日本 | 大地の変化 |
| 語句・文法・古典 | 連立方程式 | 受け身 | 中世の日本 | 生物の生活と種類 |
| 漢字の読み書き | 1次関数 | リスニングテスト | 近世の日本 | 身のまわりの物質 |
| 作文 | 平面・空間図形 | 自由英作文 | 近代の日本 (律令国家の成立まで) | 光・音・力 |
| | 平行と合同 | | | |
| | 三角形・四角形 | | | |
| | 確率 | | | |
| | 多項式の計算 | | | |

※コンパス・定規を用意してください。

☆学校説明会・体験入学への参加

すでに、教室の進路コーナーに、進路情報がいくつか貼られています。また、進路学習室にも学校案内のポスターや説明会・体験授業について貼られています。今後も各高校から、たくさんの案内が送られてきます。こまめに見るように習慣づけましょう。

もし、案内のある説明会や体験入学に参加しようと思ったら、事前の申し込みが必要かどうか確認しましょう。申し込みには、個人でできるものと、中学校を通してするものがあります。通常は、個人で行う申込がほとんどです。申込なしで直接参加できる場合もあります。中学校を通して申し込む場合には、中久木先生まで必要な書類を取りに来てください。また、予約しておいて、参加できなくなった場合には、中学校から相手校に断りの連絡をしなければなりません。早めに申し出て下さい。

また、7月中旬に「令和5年度(2023年度)東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ(東京都教育委員会発行)」が配布される予定です。来年度の入試の日程やしゅみ、都立高等学校の種類と内容、さまざまな学校の紹介が記載されています。必ず目を通し、保護者の方と情報を共有して下さい。

なお、10月ごろには、入試に関わる詳細が記載された「都立高校募集案内」が配布される予定です。



☆学年全員の進路が決まるまで、全員で応援する。

15歳のみなさんにとって、進路を決めることは簡単なことではありません。ひとりで乗り越えるのは、辛いことです。今こそ、互いに支えあうことが求められます。これまで、行事を通して、部活動の練習の中で、仲間に支えられ、友達を支え、自分達を高めてきました。その力を発揮する時です。

早い人は、1月の初めに進学先の決まる人もいるでしょう。3月の下旬になって、やっと進学先の決まる人もいます。想像してください。同じクラスの中に、進路の決まっていない人がいるのに、自分は決まったからと言って大喜びできますか。いい加減に授業を受けられますか。もし自分が3月下旬になっても進路が決まらず、進路の決まった人達ばかりのクラスで生活しなくてはならないとしたら、どんな気持ちでしょう。きっと、「がんばって」なんて言ってくれなくてもよいから、授業をきちんと受けてほしいと思うでしょう。

これまで一緒に生活してきた仲間です。全員の進路が決まるまで、自分のやるべきことをきちんとやる。それが大切な仲間を応援することにつながるのです。「受験は団体戦」ということです。

もうひとつ、覚えておいてほしいことがあります。進学先を決めていくときに、「あの高校はレベルが低い」や「あんな高校行っても無駄」などと、ある高校を馬鹿にするような発言をしないでください。どの高校にも、そこでやりたい事を見つけ、がんばっている人がいるのですから。どの高校に進学するのが大切なのではなく、そこで何をするのが大切なのです。



☆7月の面談前に・・・

7月の「第1回進路希望調査」に向けて、一応の目安(就職・専修学校・高等学校等)を考えておいて下さい。本人の希望を中心に家族の考えも交えて、十分に話し合ってみてください。またその希望(目標)を実現するためには、どのような努力が必要なのかも家庭で話題にしていただければと思います。

(1) 適性を考える

- 希望する将来の職業との関連を考えてみる。
- 自分の興味や関心、また、性格などを考えてみる。
- 日頃の学習状況を省みて学力を考えてみる。



(2) 情報収集

- 学校案内・職業案内などの本やインターネット(HP)などで情報を多く集める。
- 校内の掲示物や進路だより目を通す。
- 高校の文化祭や体育祭・学校説明会・体験授業等に参加してみる。(事前申し込みが必要な場合あり)

(3) 保護者や先生との相談

- 進路希望先が自分に合っているのか、学力面・経済面・適性面などについて相談し、話し合う。

(4) 最終決定は本人

- 通勤や通学に無理はないか。職場の生活や学校生活が自分に適しているか。
- 入社や入学が可能か。選抜方法やその難易度からみて、自分の学力や体力についていけそうか。
- 保護者や先生の助言を参考にし、進路先のようにすと自分の適性をよく理解した上で選択したか。
- 第1希望を考えることはもちろんのこと、希望が叶わなかった場合の次善策(第2、第3希望)を考えることも大切です。必ず自分の目で見て確かめておきましょう。